

第29回

名古屋大学附属図書館友の会
トークサロン

ふみよむゆふべ

『失われた時を求めて』と大聖堂
かたり：加藤靖恵（文学研究科准教授）

20世紀初頭のフランスでマルセル・プルーストが発表した長編小説『失われた時を求めて』の重要なテーマの一つが教会建築です。日常の風景の一部としての教会，書物の知識を駆使した鑑賞の対象としての中世建築，モネの連作を思わせる光に溶け込んだ建造物の印象派風の描写，そして小説の結末では，文学作品の構築過程が大聖堂の比喻とともに論じられます。

プルーストによる大聖堂の描写を読み解くうちに，ジョン・ラスキン，エミール・マール等，彼が愛読した数々の書物に，またそれらを通してさらに数多くの未知の書物へと私たちは導かれていきます。フランスの図書館での最新の調査成果も織り込みながら，大聖堂のように我々の前に巨大に聳えるこの小説の魅力に迫りたいと思います。



2013年7月9日(火) 午後6時～
名古屋大学中央図書館5階多目的室

参加無料
申込不要
会員以外の方も歓迎します

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666
FAX 052-789-3693
E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)
名古屋大学附属図書館，
同研究開発室

